

欲に限りなし驕れる者久しからず

平清盛③

一龍齋貞花

講談師

清盛は娘徳子を高倉天皇の妃にし安徳出産。貴族でない武者の娘が中宮になるのは当時考えられないことでした。

優秀な後継者重盛が死去するや、反平家の関白以下の殿上人43人を罷免。代って平家一門が要職につき、さらに高倉天皇を隠居させわずか3歳の孫安徳天皇となるに及んで清盛の権勢は絶頂に達します。日本の約半数の所領を我物に。

人間の欲には限りがない。武士の力をしめし、因習を打破し政治、経済、貿易とビジネス感覚に優れた清盛も、頂上に達すれば後は下りだけ、驕れる者久しからずである。重盛が存命であったならここまでの暴挙はさせなかったであろう。遂に源氏の旗揚げ。義朝を倒したあと、常磐御前の色香に迷い、義理の母池の禪尼の願いを入れ頼朝、範頼、義経を殺さなかった。清盛に情があったのか。源氏は、親子兄弟親戚が殺し合った。

重盛の長男光源氏の再来とうたわれた美男子維盛を総大将に頼朝追討軍、富士川の陣に関東軍は20万人、北条、千葉、梶原、畠山、三浦等関東の平氏が頼朝に味方。先祖が一緒だけにしか過ぎず一門とはいえ、源氏天下となるや主力争いから戦っていずれも滅亡している。

水鳥の羽音を敵の襲撃と勘違いして逃げ出し、清盛の死後10万の軍勢を率いて木曾義仲との戦いにも、倶利伽羅峠で油断して休息中、角に松明をつけた数百頭の牛を先頭にした義仲軍にあえなく敗北。主力を失い平家の凋落は決定的となり、幼い安徳天皇を奉じて都落ち。維盛はその後屋島の合戦にも負け、高野山に入って出家するも煩惱断ち切れず那智の沖に入水。苦勞知らずの三代目の悲劇です。

優秀な後継者の早世が平家一門の運命を左右したといっても過言ではないでしょう。

富士川の戦いに勝利をおさめた頼朝は一気に京に攻めのぼろうとしたが、「源氏の本拠である鎌倉に居を構えるべきです」という諸将の意見を入れて鎌倉へ。頼朝が実権を握っていたらどうしたであろう。鎌倉幕府を樹立し帝は京都。後年徳川幕府は江戸、帝は京都と同じ構図。

大飢饉による食べ物の違い

この時代大飢饉があり、その影響で起きたインフレにより急激な資金難、序盤の敗戦もあり、清盛は福原へ遷都し経済

の立て直しを図ったが、平家は都にあって仏教の関係で動物の肉を食べるのはよくない。そのため平家の武者の骨は女性のように細かったという。公家化して柔にもなっていたであろう。一方源氏軍は関東の荒武者、鹿や猪の肉も食べる。荒地を耕せば豆が出来る。豆は食料ばかりでなく馬の飼料になるなど蛋白源の差。食料の違い、有無が戦いを左右したともいわれています。

いま日本は米を作るなどという。アメリカもフランスも自給自足100%以上。アメリカが推進しているTPP、関税の目的の一つが農産物の輸出でしょう。イザ戦争となった時、大砲など撃たなくても、食糧の輸出を2ヵ月ストップすれば日本はお手上げと、わたしはかねてから思っています。食糧の大切さ、自給自足の必要があるのではないのでしょうか。

頼朝・義経対立のはじまり

カリスマ清盛64歳で死去。後継者宗盛も弱将、木曾義仲破竹の勢いで都に入り征夷大將軍に、しかし木曾の山猿といわれたように家来の乱暴もあり、一転範頼、義経との戦いとなり義仲敗北、規律が大切です。源氏同氏の争いの間に勢いを取り戻した平家は、一の谷に布陣したものの鶴越の坂落としなど義経の活躍。(坂落としは、地元の多田行綱の説あり手柄横取り?)

平家を破り京都に凱旋するや、後白河

法皇は、義経を検非違使左衛門尉に任じ、この位を判官^{はうがん}といい、ここから九郎判官と呼ばれるようになりました。さらに都で名だたる白拍子静を、法皇のお声がかかりで義経の朝夕を慰める女人^{にょにん}の1人に。その上清盛の妻時子の弟大納言平時忠は、義経に没収されたひと籠^{かご}の書類を取り戻したいばかりに、愛しい我が娘を義経に差し出した。サア一頼朝、面白いはずがない。「主人に無断で位^{くらゐ}を貰うとは何事か。こともあろうに敵方の娘や、法皇のすすめる静を側室にするとはいせん」カンカン怒り川越重頼の娘八重姫を義経の本妻として嫁がせます。この時行列を組んで京都の義経の元へ行ったのが上流社会の花嫁行列第1号です。都の義経の廻りには、本妻八重姫の他23人もの女性がおりました。一番愛したのは静です。

文治元年、義経が平家一門を壇の浦で滅亡させるや、「鎌倉にいる頼朝はなんにもしなかったし、範頼は平凡な武将でたいした功績もない。第一の功労者はなんといっても義経という人だ」義経の評判は大変なもの。しかし源氏の棟梁は頼朝に他なりません。

「弟の義経がどうしてわしに反逆しない保証があろう。気を許してはならん」

ここに猛き人義経の悲劇のはじまりとなって参ります。義経と静、吉野山の別れから鶴ヶ岡静の舞の名場面は次回に申し上げます。ポポンポン